

かたのがはら 交野ヶ原物語 vol. 8



※この図は、あくまでイメージです。実際は、異なる可能性もありますのでご了承ください。

提供：枚方市教育委員会



発行日：令和元年(2019年)11月11日 発行元：天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト

交野ヶ原 4コマまんが劇場

交野ヶ原にまつわる4コマまんがを交野市で活動されているきくつぺさんが描いてくださることになりました!!4コマまんがを通じて交野ヶ原のことをもっと好きになろう!!

★作者プロフィール★

きくつぺです!!
グラフィックデザイナーとしてマス.
枚方で育ち、交野に住む。
枚方歴20年以上、交野歴20年以上。
まさに交野ヶ原ビト!!
枚方 + 交野 = 交野ヶ原
好きなのは空の字を揃えること
交野の歴史をみたりすること
おもしろいことを見つけること
こどもたちと工作すること

交野ヶ原の歴史を
てしあり

大仏さんにと"きと"きと"きんの巻

© NORIKO KIKUKAWA'S SPECIAL COMICS 2019・Nov.

交野ヶ原 イベント情報

行ってみるモオ〜

11月下旬から来年1月までの交野ヶ原で行われるイベントをピックアップ!!
ぜひご参加ください!!

2020年1月12日(日)
10:30-14:00 @天津橋河川敷 (イズミヤ裏)
第31回 天の川とんどまつり

お正月飾りを持ってきてね!

主催：天の川七夕まつりの会

阿豆流為

火怨の蝦蟇

かえんのえみし あてるい

2019 12/14(土) 18:00 開演
12/15(日) 13:30 開演

会場 枚方公園青少年センター 3Fホール
(京阪 枚方公園駅 徒歩5分)

主催：ひらかた群高倶楽部 / (公財) 枚方市文化国際財団
後援：枚方市・枚方市教育委員会

2019年 歴史浪漫! 11月 古都発見の船旅

23日(土)・24日(日) 淀川舟運歴史文化発見クルーズツアー

【要事前申込】
大人3,000円 小中学生1,500円 未就学児無料

【Aコース・60名】
枚方-八幡 歴史文化発見ツアー

【Bコース・30名】
背割堤-伏見 歴史文化発見ツアー

詳細はコチラ!!

主催：淀川河川事務所

百済王氏が「ハンパにいたハンパ」

新選組副長だった土方歳三が散った、五稜郭跡。西郷隆盛・勝海舟の会談で無血開城が決められた、江戸城跡。奈良の都の大通り、平城京跡に大陸から日本を守る要塞都市、太宰府跡。これらは全て、国の特別史跡として指定されています。その史跡は、全国で62ヶ所しかありません。そのうちのひとつが、交野ヶ原を見渡せる中宮の丘の上にあります。それが、百済寺跡です。大阪府では大阪城跡と並び、指定されています。遡ること1200年。国家安寧を願い、当時の都であった奈良の東大寺に大仏が造営されました。最終、大仏の完成にあたり、表面を彩る黄金が国内では見つかっておらず、大陸から輸入すると莫大な資金が必要なため、聖武天皇は頭を悩ませていました。

ちょうどその時、陸奥国小田郡で、国産の砂金を発見し、900両の金を朝廷の献上した人物がいました。それが、百済王(くだらのこにきし)敬福(ききょうふく)です。聖武天皇は、元号を天平から天平感宝に改めるほど大喜びしました。そして、百済王敬福は三位に昇進し、その後、河内守に任ぜられます。その後、百済王氏一族は、交野ヶ原の小高い丘の上に移り住み、氏寺を建立したと言われています。それが、百済寺です。

百済王敬福が金を発見した土地は、現在の宮城県涌谷(わくや)町であり、「みちのくGOLD 浪漫―黄金の国ジパング、産金のはじまりの地をたどる―」として、令和元年度の日本遺産に認定されました。

函館で散った土方は京都の新選組の副長だったからこそ、その悲哀が深く、西郷と勝の江戸城無血開城は国内外の情勢と共鳴し、その出来事の素晴らしさを3倍増して現世に伝えます。

百済寺跡は「跡しかない」などと嘆くことなかれ。想像力を働かせ、いざ、ジパングのゴールドラッシュをともにたどろうではありませんか。

嶋田研志郎

～天空の地上絵を日本遺産へ～

天の川・交野ヶ原 プロジェクト

みなさまの「交野ヶ原」にまつわる記事・写真等お待ちしております!!

★問い合わせ★080-5339-3106(事務局) katanogaharapj@gmail.com

「交野ヶ原物語」とは 私たち天の川交野ヶ原日本遺産プロジェクトはこの交野ヶ原を、文化庁が認定する日本遺産へ申請登録を目指す活動を続けております。日本遺産の申請・登録への道りは長く険しいものですが、念願叶い、日本遺産へ登録されたとしても、交野ヶ原に縁のある方々にとって、「他人事」であっては日本遺産の看板も意味がなくなってしまうのです。私たちは、交野ヶ原をより生活の中で身近に感じてもらいたいと考え、「交野ヶ原物語」を刊行しました。交野ヶ原といふ場所にもつづる過去・今・未来の時間軸、そして現代に生きる私たちの生活という横軸をつなぐ。老若男女が時を超えても手に取りたい「交野ヶ原物語」を皆様と共に創り上げてまいります。

交野ヶ原偉人伝③

百済王敬福と涌谷町

宮城県涌谷町
企画財政課主任 金野 暁

聖武天皇の発願によって鑄造が進められていた奈良東大寺の大仏。西暦749(天平21)年に鑄造が完了するはずであったものの、鍍金する金が不足し、金を求めて遣唐使の派遣も検討されるほど深刻な事態となっていました。しかし、その絶妙なタイミングで、都があった平城京から遠く離れた小田郡(現宮城県遠田郡東部)から金を発見したという一報がありました。その報告を出した人物が、当時陸奥守を務めていた百済王敬福です。

(現富山県)にも伝わり、越中守をしていた万葉の歌人でもある大伴家持が「陸奥国より金を出せる詔書を賀く歌」を詠み、「万葉集」に残されています。

時は現代となり、宮城県涌谷町では、「日本初の産金の歴史」を旗印に、宮城県気仙沼市・南三陸町、岩手県平泉町・陸前高田市といった「みちのくの金」にまつわる歴史遺産を持つ自治体と連携し、文化庁の日本遺産に認定されました。

「日本初の産金」の舞台となった国史跡「黄金山産金遺跡」内には、樹齢数百年にも及ぶであろう杉が自生し、その中心に「黄金山神社」が佇みます。その傍には、大伴家持が詠んだ歌「すめろきの御代栄むと東なるみちのく山に 金花咲く」が刻まれた万葉歌碑が立ち、百済王敬福によってもたらされた「日本初の産金」の業績を訪れる人に伝えています。



▲日本初の産金の歴史を今に伝える黄金山神社



▲涌谷町内の沢で現在も実際に採れる砂金



▲日本遺産認定後、2市3町が合同で開催した認定記念式典



▲黄金色に実った涌谷町の現代の金「金のいぶき」

産金の歴史にあり、高機能性玄米食専用米「金のいぶき」のブランド化を進めています。その「金のいぶき」は、ブランド化を強化し始めた平成29年度から、涌谷町の「現代の金」として、新米が出る11月上旬、奈良市で行われる平城京天平祭東大寺参詣に併せて、大仏殿に献納しています。

近年では、日本遺産に関する取り組みとして、「日本初の産金」を改めて地域の誇りとして、現在でもわずかながら採れる「砂金」を、住民参加型で実施する「砂金採り」イベントも実施しています。

百済王敬福によってもたらされた鉱物資源としての「金」は廃れてしまいましたが、「日本初の産金の歴史」を地域の財とするだけでなく、日本の財とするべく、涌谷町に今ある魅力をさらに黄金色に磨き上げてまいります。

美味しい交野ヶ原を食べつくせ！ 新作交野ヶ原スイーツ誕生秘話

青年部企画



枝豆の風味と練乳が相性抜群♪



時は平成XX年とある枚方の小学校で1人の女子生徒が黒板横に掲示してある紙を眺みつけています。給食の献立表のようです。彼女の視線の先にあるメニューは「ずんだもち」今日の小おかずが枚方の名物として登場したメニューが幼い彼女の口には合わなかったようです。彼女は枚方を愛していたのに、幼さ故にずんだの大人の味を愛せなかつたのです…。

ですがご安心ください。今では彼女も立派な大人になり、そして枚方への愛が彼女にチャンスを与えます。「枚方まつりで出すかき氷の案を出してほしいのですが」「ずんだもちがいいのではないのでしょうか」(私も大人になりました)

かくして、そのアイデアは菓匠十久堂さんの「コラボ」ずんだ枝子(ずんだもち)として実現しました！

彼女が愛するずんだって何だろう！東北仙台のずんだシエイクなどで知られるずんだ、実はこの交野ヶ原とも関わりがあったりしちゃうらしいです！ずんだとは枝豆をペースト状にすりつぶし塩や砂糖を加えた餡のことです。それを餅にくるんで食べる「くるみ餅」として、交野ヶ原では秋の収穫の風物詩として親しまれていました！

昔の人たちが嗜んだずんだとは、はたしてどんな味だろう？気になる方は、菓匠十久堂へGO!!

「くるみ餅」は枚方の郷土料理なんだよ



食べた人の感想を抜粋

意外な組み合わせだったけど、食べてみるともちもちした団子にたくさんのずんだと氷がマッチしていておいしかったです。

量が多かったけど美味しくペロッと食べれました。名前が面白く、地元の枝豆を使っていて地元和菓子屋がずんだを作っているって書いていたので、今度その和菓子屋さんに行きたいと思いました。



交野ヶ原男誕生秘話

当PJでは、第一回目の交野ヶ原フェスタの時より交野市・神宮寺で採れた田中ぶどう園さんの「神宮寺ぶどう」と、枚方凍水の氷を使用したかき氷を看板商品として掲げました。

今回、ぶどうかき氷をもっと多くの方に美味しいと思っていただくべく、交野ヶ原の魅力を感じていただけるものにアレンジしたいと考えておりました。

そこで、我々に手を差し伸べて下さったのが枚方市光善寺にある「cafe & Dining」(以下Yさん)でした。Yさんは、枚方市の盆踊りチーム「スターダスト河内」が主催された「沖繩奉納公演イベント」に当PJが共催した際、同イベントで出店されていたことで縁が繋がりました。ご相談すると快く監修を引き受けて下さり、試行錯誤して生み出して下さったのが今回のぶどうアイス「交野ヶ原男」(かたのこ)です！

甘酸っぱい神宮寺ぶどうの美味しさが引き立つ一品となりました。Yさんに心より感謝申し上げます。本当にありがとございました！！



デラウェアが名前の由来よ

食べた人の感想を抜粋

おいしかった。ぶどうの味がもっと濃くてもよかったです。

次は、もっとカラフルなかき氷が食べてみたいです。



まず初めに、涌谷町を含めた、台風19号で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

涌谷町は「みちのくGOLD」浪漫黄金の国ジパング産金はじまりの地をたどる「のストーリー」で、日本遺産に登録された地域です。本プロジェクトも日本遺産を目指している点や、百済寺を建立した百済王敬福が涌谷町で金を発掘している点など、様々な部分で関係があることを知り、枚方まつりで「コラボ」を出させていただけませんか？と連絡させていただきました。

すると、「二つ返事で快諾して下さり、涌谷町産ブランド米「金のいぶき」を使った、「くがね甘露」(くがね)という甘糰(あまご)をシロップとして使えないかという提案をいただきました。

この「くがね甘露」の魅力を最大限に活用したいと考え、実験に実験を重ね、幹事の方にもご意見いただき、完成したのが「涌谷糰百済わくやこうじくら」です。GOLDで繋がったプライスレスな繋がりを今後も大切にしていきたいです。



お肌の点滴と言われる糰です

ご来場ありがとうございました



交野ヶ原の民話をたずねて④

交野ヶ原の昔ばなし「もうひとつの百済王神社」

むかし、枚方がまだ交野郡と呼ばれていたころのことです。奈良時代は聖武天皇の御代、天皇がお造りになられた盧遮那仏(大仏)に塗る金がなく、たいそう困っていたところに、陸奥守である百済王敬福という人が、日本国内で初めて金を見つけたという報告が入りました。聖武天皇は非常にお喜びになり、その功績から、百済王敬福を昇進させ、河内守の位を授けました。



この参道をのぼると百済王神社の拝殿・本殿・稲荷社がある。小高い山の上であり、かつては中宮まで見渡せたことだろう。

族はたいそう栄え、やがてその本拠地を河内国交野郡中宮に移し、百済寺を建てたと言われています。また、百済寺の西側には、百済王氏一族のご先祖様をお祭りする祖廟として、百済王神社が建てられました。

百済王氏一族は桓武天皇・嵯峨天皇の時代には、天皇の外戚として関係を結び、隆盛を極めました。しかし、時代の流れとともに、歴史の表舞台から姿を消していきます。百済寺が廃寺となってからも、百済王神社は、百済王氏一族の人々によって祀られていました。時代は下り、豊臣秀吉の時代になり、秀吉の行った大閤検地によって一族の人々は中宮の地を終わられ、天野川を挟んだ、ちょうど反対側の、現在の大垣内に居を移しました。その時には、中宮から多くの人が付き従ってきたと言われています。

一族の人々は、その後も天野川を渡り百済王神社の祭祀を続けていきましたが、江戸時代中期頃の洪水で、天野川を渡る道が途絶えてしまっただけで、百済王神社へ行くことができなくなりました。そこで、大垣内の邸宅の中に、中宮

の百済王神社を分霊し、遙拝所を設け、お祀りを行っていました。その後、百済王氏一族の人々が、大垣内を去ってからは、遙拝所の跡は大垣内村の氏神として村人の信仰を集め、現在まで大切に祀りされているのです。

現在の大垣内は、枚方市役所の所在地でもあり、市役所その他にも官公庁が集まる市の中心地ですが、百済王神社は市街地の喧騒とは無縁の、少し奥まった、こんもりと茂った小山の頂上に鎮座して



現在、拝殿は骨組みのみが残っている。奥には本殿があり、拝殿の右側には稲荷社がある。

います。参道は常に掃き清められ、樹木に覆われた清々しい境内には百済王神を祭神とする本殿や稲荷社があります。神社は住民によって大切に管理され守られています。一月には元旦祭、四月には春祭り、十月には秋祭り、十二月にはお火焚き祭といったように、現在も住民の方々が四季折々のお祀りを行ってられます。



左赤丸が大垣内の百済王神社、右が中宮の百済王神社。水色線で示した天野川を挟んで対岸に位置している。

香陽七夕

けんぎゅう祭を知っているかモオ

香陽小学校付近は白鳳時代に創建、室町時代まで栄えた「中山観音寺」があったんだモオ。今は公園となったんだけど天野川を見渡せるところには牽牛石があるんだモオ。

2007年7月7日全国七夕サミットが枚方・交野で開催されたとき、ここに市民団体の呼びかけで日展彫刻家の石橋整一氏デザインによる牽牛石像と、山上憶良の七夕の句「牽牛の妻迎え船こぎ出らし天の川原に霧のたてるは」が刻まれた万葉歌碑が建立されたんだモオ。その後5年間、牽牛像の前で「牽牛祭」が開催されてきたそうだモオ。そして平成24年8月4日から、秋に開催されていたPTA祭と香陽七夕まつりを合体して、香陽七夕「けんぎゅう祭」としてPTAとコミュニティの共催で香陽小学校グラウンドに場所を移し毎年開催される伝統行事になったんだモオ。また、地域のひとたちが精魂込めて作った手作り神輿「おりひめ号」「ひこぼし号」が子どもたちに引かれて地域を巡行しているんだモオ。



牽牛像



牽牛石

「けんぎゅう君」に地域の人たちの郷土への愛と地域のつながりを感じられて、とっても素敵だモオ。



けんぎゅうくん



七夕歴史講演会

「交野ヶ原と万葉歌碑」に参加したモオ

に参加したモオ

令和元年9月8日ひらかたNPOフェスタで行われた七夕歴史講演会「交野ヶ原と万葉歌碑」に参加してきたモオ。講師は、枚方・交野で万葉歌碑の建立に尽力され、交野が原万葉学級代表の毛利信二氏だモオ。万葉学者の犬養孝先生が枚方税務大学の講師をされていた関係で、同校に1992年「さわらび万葉歌碑」が建立されたのが始まりなんだモオ。



七夕伝説がある交野ヶ原・天の川流域には、観音山公園、機物神社、星田妙見宮、逢合橋、天野川緑地公園の5ヶ所に七夕万葉歌碑があるんだモオ。ちなみに万葉集以外にも古今和歌集で在原業平が桜を詠んだ歌の歌碑など他にも多くあるモオ。

令和元年度の日本遺産に認定された宮城県涌谷町には、百済王敬福遺産に認定された宮城県

が日本初の産金により東大寺

大仏の鍍金に献上した喜びを詠った大伴家持の万葉歌の歌碑があるんだモオ。百済王敬福はこの功績で河内守となり、百済王氏一族は中宮に、今は特別史跡になっている百済寺を創建し、交野ヶ原とも深いつながりがあるんだモオ。

交野ヶ原の歌碑巡りに、ぜひ行ってほしいモオ。



いにしへの奈良時代より、「百済王敬福」のご縁でつながった涌谷町と交野ヶ原。このページでは、涌谷町・交野ヶ原それぞれの当地ゆるキャラによる「お国自慢」をしてみたいです！
それでは、涌谷町の城山の金さん、交野ヶ原のおうしさん、よろしくお楽しみします！

宮城県 涌谷町

Wakuya-Town



城山の金さん

わじや城山の金じや。それではひとつ涌谷の自慢をいたすどする！

●城山の金さんプロフィール●

町花に指定されている「さくら」の県内有数の観光名所であり、また、東大寺の大仏に使われた日本初の産金地であることを象徴した涌谷町の観光PRキャラクター。役場まちづくり推進課に勤務しています。

自然



ののだけやま こんぼうじ
鏡岳山(鏡峯寺)
涌谷町の中央に鎮座する標高236mの山で、日本初の産金をもたらした聖なる山。山の山頂には樹齢900年を超える杉木立の中に、大同2年(807年)に坂上田村麻呂によって建立されたと伝わる鏡峯寺があります。

祭



桜まつり
涌谷町のもう一つのシンボルで、天守閣を模した史料館を中心とした城山公園と江合川堤防沿いに桜が咲き誇る4月に開催される「桜まつり」。その最高潮は、4月第3週目に開催される「東北鞍馬競技大会」で、東北・北海道各地から力自慢の鞍馬が集結します。

パワースポット



こがねやま
黄金山神社
日本初の産金地・国史跡「黄金山産金遺跡」内にあり、産金を記念して建てられた仏堂跡の上に建つ神社で、日本初の産金がこの場所にあることを伝え続けてきました。境内地を流れる沢では、今でも砂金が。

食



カツカレー
涌谷町のソウルフードの一つともいわれる「カツカレー」は、金色に卵でとじられたかつ丼風のカツがのっています。涌谷町内では2軒の飲食店で提供されているほか、テイクアウトできるお弁当としても販売されています。

夜景



こうのざん
交野山山頂
交野市にある標高341mの山。頂上には観音岩と呼ばれる巨岩があり、巨岩の西側には梵語が刻まれています。交野市のシンボリックな山で、頂上からは大阪・京都方面を一望することができ、夜景スポットとしても人気があります。

祭



ふとん太鼓
約300年前、元禄時代から始まったと言われ、東海道五十六次目にあたる枚方宿の繁栄と五穀豊穡を祈願するお祭です。現在、四町がその伝統を受け継ぎ、布団を4枚重ねた形状の神輿を担いで枚方宿地区周辺を練り歩きます。

パワースポット



星田妙見宮
平安時代、弘法大師が交野に来た時、獅子窟寺で秘法を唱えると天から三ヶ所に分かれて星が降ったと言われます。そのうち一つが御神体として祀られ、古くから七夕祭祀が行われていました。知る人ぞ知る関西有数のパワースポットです。

●おうしさんプロフィール●

好きな人はひこぼしくんとおりひめちゃん。ひこぼしくんと田んぼを耕し、農業の手伝いをして、衣食住の食の分野に貢献しています。枚方市と交野市をつなぎ、交野ヶ原の天空の地上絵を広める活動をしています。

ランドマーク



枚方市駅前
枚方市駅前には、枚方で創業した蔦屋書店(枚方T-SITE)があります。枚方市駅周辺は駅前再整備が予定されており、ホテル建設や市役所移転など、今後枚方市のランドマークとして大きく景観が変化していくことでしょう。

遊



ひらかたパーク
現存する日本最古の遊園地。かつては菊人形展で有名でしたが、後継者不足で2005年に終了。現在は枚方市出身の俳優・岡田准一扮する「ひらパークさん」による広報戦略により入園者数を伸ばしています。枚方市民の庭。



おらじさん

交野ヶ原は今の枚方市と交野市だモオ～それぞれ魅力を自慢するモオ～

大阪府 交野ヶ原

The Katanogahara region (Hirakata-City Katano-City)

コラム：金運掘ルーツは!?
百済王敬福が涌谷で発見したという金900両(13kg)は、遠く陸奥から奈良の東大寺までどこのよう運ばれたのか。たのんでしよう。文獻に残ってないため、想像するしかない。枚方市には「黄金山産金遺跡」があり、産金を記念して建てられた仏堂跡の上に建つ神社で、日本初の産金がこの場所にあることを伝え続けてきました。境内地を流れる沢では、今でも砂金が。

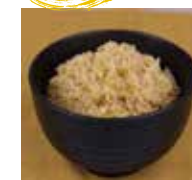


東大寺

今年も無事、11月3日に献納してまいりました！

涌谷町では、奈良時代に大仏さまの塗金用の金を産出したご縁から、涌谷町の現代の金として、その年に収穫した「金のいぶき」を東大寺の大仏さまに献納しにまわっております！

おみやげ



金のいぶき
通常のお米の3倍の胚芽を持ち、栄養豊富な玄米専用の品種。一般的な玄米に比べて甘みが強くモチモチとした食感が特徴。日本初の産金の歴史にちなみ、平成29年度から涌谷町としてブランド化を進めているお米。